



火のまわりで「親子自然あそび」(2/20)

生態園 NEWS Letter

No179

2019/3

NPO 法人

茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会事務局

Tel/Fax : 045 - 945 - 0816

E-mail seitaie@ybb.ne.jp

URL <https://www.seitaie.com/>



＜早春の花＞ アオイスミレ



シュンラン



モミジチゴ



イヌコリヤナギ (3/14)



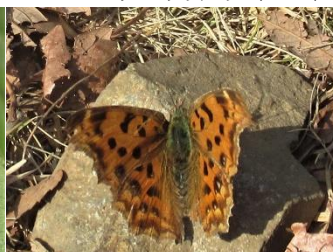
①イラガ(繭) (2/24)



②ホシハネピロアトキリゴミシ(2/7)



③マエアカスカシノメイガ(2/24)



④キタテハ(2/20)

〇〇〇水辺のいきもの〇〇〇

カワリヌマエビ属

東アジア原産の外来のエビ。在来種のヌカエビとよく似るが、目が顔から飛び出しておらず、目の横にトゲがないことで区別できる。生態園でも最近確認された。



- ① 越冬するために硬い繭を作ります。成虫は6月頃に現れます。幼虫に刺されると非常に痛いので要注意です。
- ② 朽木で越冬中を発見。通常は樹上生活をしているようで、あまり目にする機会が少ない虫です。
- ③ 前翅(ばね)の縁に赤褐色の筋がある半透明の白い翅をもつスマートなガです。
- ④ 秋に現れてそのまま越冬した秋型です。翅の切込みがシャープでとても素敵です。

昆虫: 山村靖男

今月の花

早春の生態園

三寒四温のなか、段々と春らしい里山です。

園路の東山、西山には、ウグイスカグラの桃色で可愛い花が咲いています。畔にはオオイヌノフグリが、青空の下でニコニコ顔です。コバルトブルーの色は太陽と仲良しです。

湿った所ではフキノトウが、素敵な若草色をゆるめています。独特な春の香りの食材でもあります。花も咲きます。よく見ると百合を小さく小さくしたような集まりです。生態園には雄株のみですが、雌株はタンポポ状となり、タネを風で飛ばします。

生態園には木も多いです。正門を入ると、開園10周年記念の3種があります。ムラサキシキブは梅雨の頃、小さな赤紫色の花が咲きます。ガマズミ、マユミは初夏、やはり小さく白い花です。それぞれ秋にはムラサキ色や紅色の実がつけます。

動物、植物など皆、春になると生き生きします。私たちの身にも心にも、オアシスとなっている生態園です。一層楽しくなります。

秋元 邦枝



ウグイスカグラ

オオイヌノフグリ

フキノトウ (2/24)

3月にみられる花 アオイスミレ、イヌコリヤナギ、ウグイスカグラ、オオイヌノフグリ、キブシ、シュンラン、タネツケバナ、フキ、モミジチゴ